

東京大学社会心理学研究室 2015 年度修士論文

1. 武井恵亮「モラル・ライセンシングの生起条件の検討：先行道徳行動の自発性認知とモラル・アイデンティティによる検討」
2. 舘野洋輔「親密な二者関係における透明性の錯覚—関係維持および関係満足度の観点から—」
3. 相田直樹「暗黙理論が努力戦略に及ぼす影響」
4. 岩谷舟真「評判予測と規範遵守行動の関係：関係流動性に着目して」
5. 川尻知弥「地域活動への参加意欲を促進する諸要因に関する検討」
6. 齋藤美松「向社会行動は、内集団の枠をどう越えるか～認知処理過程の検討～」
7. 二木望「心理的本質主義がジェンダーシステム正当化に及ぼす影響：集団間地位および社会経済的地位による効果の検討」
8. 松本龍児「自由意志信念が報復的行動に与える影響：自由意志の主体に着目して」